

広報

伊方町

発行所
伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 伊方局38-0211
編集
伊方局38-0211
総務課
印刷所
豊豫社
八幡浜市松柏 22-0144

今月の紙面

二面……ゴミは水分をよく切って
九町診療所に新しいお医者さん
三面……民話と伝説「豊之浦」
健康の窓・父の日似顔絵
四面……ヤングロビー 根来六公さん(西)
歳時記・ぶらり散歩道

ふるさと再発見 23

“おいこ”を背負って畑へ

地下たぐいに「つづれ」、背中には「おいこ」に鎌や鎌をくくって畑仕事に行くのが、農作業のスタイルでした。最近を着る物も変わり、おいこを背負う姿も少なくなりました。

おいこは荷物を背負う木製の道具。段々畑が多く、道らしい道のないこの地方では重要な運搬具です。

古くから農作物をはじめ、木材、生活用品の運搬まで幅広く利用されてきました。明治から昭和四十年代にかけて

は牛馬の飼育が盛んで、毎日、飼料の青草を刈り取って運ぶのに使われました。また、家庭のゴミや牛、山羊

の糞などを田畑に還元していたため、畑の行き帰りは必ず荷物があつたそうです。しかし、昭和三十年代の後

半になると農業構造改善事業などで農道の整備が進み、それにつれて農家にも耕運機や小型トラックなどの運搬具が導入されるようになりました。さらに四十年代に入ると、

段畑を縦横に走るモノトラックが設置されるようになり、おいこの役目は、しだいに動力の付いた運搬具に取って変わ

るようになりました。しかし、近くの畑への行き帰りや道の狭いところは、おいこがいちばん便利です。



雨の降らない日は、ほとんど毎日、おいこを背負い畑に出かける亀本さん

加周の亀本ハルエさん(七十四歳)も、おいこ愛用者の一人。家から近いところに畑があり、広い道も付いていないため今でも畑仕事に、おいこは欠かせないものがない。雨の日以外のほとんどは畑仕事に出る亀本さん。「畑に行けば仕事はいくらでもある。じっとしているよりか、気ばらしにもなるし……」と、柑橘園の草引きや野菜の手入れに汗を流していました。

つい最近まで、地下たぐいに「つづれ」、おいこに鎌と鎌、男子はねじりは巻きて女子は日本手ぬぐい——こうした格好で畑仕事に行き帰ります。人をよく見かけました。

時代の流れとともに、おいこ姿が減り、衣服もスポーツウェアが多く、女子のモンペも減りました。

おいこ

荷物を背負う道具を「おいこ」と呼び、大切な運搬具として広く使われました。現在は、見かけることが少なくなりました。

この地方のおいこは黒松の根の部分を利用することが多く、格好のよい木を選んで掘り起こし、一本を半分に切って使われました。

形はL型。背負ったとき腰からL型に曲がった部分をツメと呼び、背中に当たる部分は縄などを巻き、木の部分が直接背中に当たらないようになっています。

たくさん荷物を積む人は大きめの材料を使い、おいこは普通の三倍もあり、話によると「若いころには二百貫(七百五十)くらいは材料を一度に背負った」という力自慢の人もいるそうです。

もうお済みですか 児童手当の現況届

児童手当法が改正され昨年六月から新制度の実施により、第三子から支給していたものを第二子から支給と、対象範囲が拡大されました。

町内で、昨年一年間に支給された児童手当の総額は約一千九百万円。月平均の該当世帯は三百四世帯あります。

児童手当を受け付けているかたで届出用紙が来ていないかたは、書きかたなどわからないことがありましたら、役場福祉環境課児童福祉係までお尋ねください。

まちの地名考⑤

○伊方越

(いかたこし) 伊方は、谷頭、山ろくなど山を負う土地の意味からか。その伊方の山を越えて行くところの意味であろう。藩制時代には歩越



○亀浦(かめうら)

もと茅浦といっていたのを文政三年(一八二〇)に亀浦と改められた。めでたい鶴、亀にあやかってか。または亀は水に関係があるので、水を求める願いが込められてか。

○奥(おく)

九町の奥に入り込んだところからか。

○向(むかい)

奥の向い側にあるところからか。

ゴミ 水分を十分切ってから



水分はよく切っていますか。中には心ない人も…

暑い夏、ゴミ収集所の臭いや汚れが気になったことはありませんか。ポイと置いてくれば、そのあとはどうなっているかわかりません。

でも、収集場所の回りの人や清掃する人が困っていることもあるのです。

「ゴミをきちんと出す——これくらいは生活のルールではないでしょうか。」

困りますルール無視

7月には電池の収集も

宿名峠にある本町のゴミ焼却場には、毎日たくさんのごみが集まります。

一日の平均収集量が約5トンで、処理場の能力限度にも達しています。

ゴミの種類も紙、ビニール、野菜くず、残飯などさまざまです。きちんと水分を切って

いるものもありますが、野菜くずや残飯などは水分をいっぱい含んだままのものが見受けられます。

こうした燃えにくいゴミは一般の二倍、三倍の時間をかけても十分に処理できません。それだけ、余分な時間と費用がかかるわけです。

ゴミを出すときは、水分をよく切って、袋に入れて出すようにしてください。一人くらいが、大勢の人に迷惑をかけることになりません。

なお、七月の不燃物収集日には電池の収集も行います。ばらばらにならないよう必ずビニール袋に入れて、電池だ



有田医師が赴任

九町診療所に新しく有田茂医師(63歳)が赴任され、さっそく6月16日から診療を始められました。

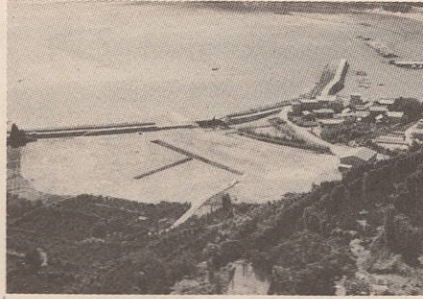
有田医師は徳島県の出身。和歌山県立医専を卒業して昭和25年に医師免許を取得され、和歌山県や岐阜県内の病院などで勤務をされていました。専門は外科で「心の通う診療を目指したい」と、張り切っておられます。

なお、夫人も徳島県で小児科医をされているため、単身で医師住宅に入居されています。

これで九町診療所は、栗田所長と有田医師の2人が診療に当たられることになりました。

九町池完了

不燃物処理場の九町池の埋立てが今年三月で完了し、四月からは瀬戸内海側にありのアラカヤ地区で処理を行っています。



埋立てが完了した九町池

し尿くみ取りと管理

し尿くみ取り

家庭から出るし尿は指定業者がくみ取り、八幡浜市と保内町・伊方町の一市二町で管理運営している「八西し尿処理場」で処理されています。

しかし、毎日の受入量が決められていますので、一度に大量の搬入ができません。特に七月から八月にかけては、くみ取り依頼が集中する時期です。集中すると希望に応じられないことがありますので、早めに依頼しましょう。

浄化槽の管理

町内の業者は伊方安全衛生社(湊浦)と伊方衛生社(大浜)です。

浄化槽の保守点検は規模などにより、年四回以上定期的に行うことが法律で義務づけられています。また、浄化槽汚泥も年一回以上清掃(全パッキは二回以上)することが決められています。

浄化槽の管理業者と管理契約をして、保守点検に努めてください。

父の日似顔絵

今年は6月21日が父の日です。恒例の似顔絵16点を紹介します。



本まどかちゃん (豊之浦=5歳)



兵頭 梨加ちゃん (奥=5歳)



大沢 充宏くん (奥=6歳)



山口 良治くん (二見=5歳)



山岡 久美子ちゃん (田之浦=5歳)



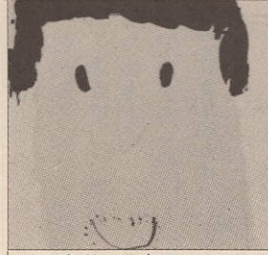
越智 友昭くん (湊浦=5歳)



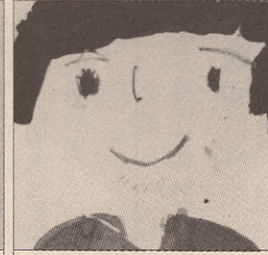
伊藤 恵ちゃん (湊浦=5歳)



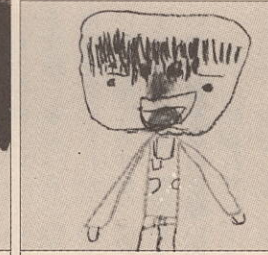
山地 隆仁くん (湊浦=5歳)



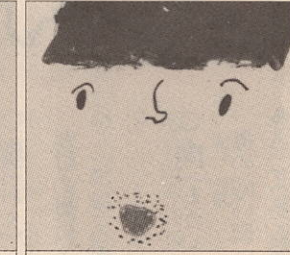
宮谷 理恵ちゃん (仁田之浜=6歳)



小松 美津代ちゃん (湊浦=6歳)



大沼 圭一くん (亀浦=5歳)



阿部 紘美ちゃん (川永田=6歳)

民話と伝説

取材先/豊之浦 補作/岡村豊
挿絵/山本一路(湊浦)

(45)

海水浴だいいじょうぶ

水質調査ではほとんどが「快適」

町では海水浴シーズンを控え、松山市にある愛媛県予防医学協会に依頼して海水の水質調査を行いました。

水質調査結果
(調査月日：昭和62年6月8日)

項目	PH	CODmg/l	大腸菌群数	判定
	(7.0が中性)	(低いほどよい)	MPN/100ml	
大 浜	8.3	1.4	9	快適
中之浜	8.4	1.4	0	快適
仁田之浜	8.4	1.6	23	快適
湊 浦	8.1	3.1	13,000	適
川 永 田	8.3	1.6	240	快適
川永田(室ノ鼻)	8.4	2.3	4	快適
伊 方 越	8.3	3.0	130	快適
伊 亀 浦	8.2	2.2	21	快適
豊 之 浦	8.3	2.2	34	快適
九 町	8.2	3.0	1,300	適
二 見	8.3	2.5	33	快適
加 周	8.6	3.6	170	快適
鳥 津	8.1	1.9	1,300	適
大 成	8.3	2.5	1,300	適

今年の調査場所は全部で十四カ所。国の海水浴場水質基準に基づく大腸菌群数など三項目について調べました。調査結果は上表のとおりです。総合判定で不適はありませんが、湊浦・九町・鳥津・大成の四カ所が適、あとは快適でした。

以前にくらべ大腸菌群数は減少傾向にあります。しかし、COD(化学的酸素要求量)はやや高くなる傾向にあり、住宅地に近いところほど海水の汚れが見られます。町内にはきちんとした施設



海水浴客でにぎわう加周海岸

怖い土砂災害

20ミリを超えたら要注意です

一瞬のうちに人命や家など、かけがえないものを奪ってしまふ土砂災害。特に梅雨、台風の時節、融雪期などが土砂災害の多発するシーズンです。国や県、また町では、災害を未然に防ぐための砂防事業及び急傾斜地崩壊対策事業などを行っています。



降雨量の目安は一時間に二十ミリです。これを超えたら要注意です。

牛出の塚

豊之浦

うちのみかん畑の中のもの、昔からあるがじやが、何やらわしも知らんがよ。土を高く盛ったように、その回りは石垣で囲まれ、小石がいつぱい積み上げられておつてのう、おこしの木と梅の木が生えとるがよ。

何はともあれ、とにかく、そこへ行って見るかな。で家族や我が身に何やら祟りがあつてはいけん、だれも手をつけなだんがらしいわい。でものう不思議じやないかのう。こんな場所にあるがのう。畑の端の方になへ塚をつつておいたのじやろうかのう。本当に不思議でいけんちやのう。おそらく、これは行き倒れの人を祭っているのではと思つ

じやろうかな。この塚の下を発掘してみても、甲冑じやの刀剣や槍、薙刀などの武器も埋めとりやすまいじやないか。そうじやなあ、ある所で刀と思われる物が出て、見せてもらったけれど、酸化してぼろぼろにくずれて、刀の形跡もなくして保存する価値もないくらいじやったなあ。

あれからのう、何人も老人に会つて「牛出」の塚を知つとる人を探したけれど、数人の人から、あれはのう、平家の落人を祭つたものではなからうかといふことじやったぜ。あそこ、家を建てて住んでいたときもあつたかもしれんといふ話もあつたのう。

昔から、ここに塚があることは知つていたぞうですら。これからは梅雨、「つゆ」といふのは「露」から来ているのかと思つていたら、「つゆ(漬)」の説もあることを知りましとい。この季節、特に雨が降り、いやでも雑草が生い繁るとき、時々雑草を刈つてこの塚を大切に保存しませんといけません。

どんな物かいつべん見てみてや。ここよ。この辺の地名をの「牛出」といふがよ。世間の話では、この塚の下には、何ぞ埋まつとるがじやなからか。何ぞ出りやせんじやろうか、発掘してみたらどうかと、そんな話の、再々あつたがじやが、結局、塚の下を掘つたあと

でもみたが、そんな人にいかな塚はつくらんじやろうかな。これは、昔の高貴な人を祭るためにここに築いたのかもしれないのう。それに、この塚の場所は悪い所じやないぜのう。黒島と向かい合わせに、西は女子岬じやろう。東は鳥島から八幡浜沖を一望できる所



宇和島が一望できるこの塚を、豊之浦や町内の人にも知つてほしいですら。協力者：井上忠孝さん(豊之浦)

健康の窓

健康についてどう考えているかと、聞かれたら、まず思ふことは、数年前に脳血管梗塞で一カ月以上も死線をさまよいながら、快方に向つてからは熱心なりハビリのおかげで、見事に立ち直り今は元気で孫の守りをして

いる長兄のこと、一年前に肝硬変で腹水がたまり、これもまた数カ月前も重態が続いた下の兄のこと、さらに親しくしていただいた恩師が脳溢血でたおれ、意識不明のまま五日目に永眠されたことを、涙も新たに思い出されます。

肝硬変の兄は、不摂生の積み重ねで発病したことを、自他ともに認め、現在は復職して家族の協力を得ながら無理をせず、酒席に出てもジュースで乾杯をしますが、この姿勢が永久に続くことを心から願わずにはおれません。

脳血管と脳溢血のちがいは、こそあれ、二人とも定年退職後は自分だけでなく、周囲の人々の健康にも目を向

大星 圭史くん (川永田=6歳)
辻 未久ちゃん (豊之浦=5歳)
水本 貴子ちゃん (大浜=5歳)
明神 生枝ちゃん (大浜=6歳)

野田ヒサヲ(西)

Young Lobby

ホップ・ステップ・青春

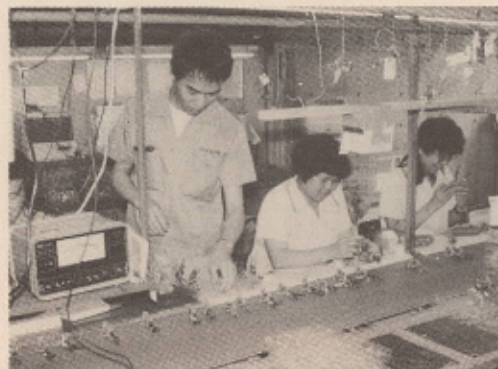
根来 六公さん (西=27歳)



経験が自信に

今回のヤングロビーは伊方電子産業勤務の根来六公さん(西=二十七歳)。

都会での生活は、近所の人との付き合いも少なく味気のないものであった。反面、田舎は人情味豊かで心が落ち着く場所であるという。二年前には町青年団協議会



製品の検査をする根来さん(左端)

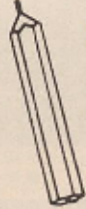
の会長も経験したが、あまり実状がわからなかった。人前で話したりすることの苦手な根来さんにとって、なかなか骨の折れる仕事であった。

なかでも、特定者だけの参加や青年団活動のマンネリ化といった点では随分頭を痛めた。幸い多くの友だちが、いろいろと協力してもらったおかげで何とか任を終えることができた。

こうした貴重な経験で、自分にもやれるんだという自信めいたものがついたという。

根来さんは、自分の生まれ育ったこの町をいつまでも大切にしたいと頑張っている。

編集室



気象情報などによる、今年の前半は全国的に少雨傾向のようです。中でも関東地方が少なく、すでに飲料水への影響が心配されています。

本町は四月に雨が少なかったものの、五月と六月は平年並みのようです。(町気象観測局調べ)

情報ボックス

教員採用

▽志願資格 (-)教員普通免許状を有する人または昭和六十三年三月三十一日までに取得見込みの人で大学等で証明が得られる人 (二)昭和三十三年四月二日以降に生まれた人

試験日

昭和六十二年七月下旬

出願の手続き

昭和六十二年七月一日

お祝い

昭和62年4月1日 4月30日

おめでとう

昭和62年4月1日 4月30日

おめでとう

昭和62年4月1日 4月30日

歳時記

お中元に何やら平べったい箱が届いて、開いて見たら、竹の柄のついたき...



うちわ ちわは伝統的工芸品として各地に残されています。



かまどや七輪をうちわであおぐこともなくなりまし...



ぶらり散歩道

テングサ干し 加周海岸では、6月の初めごろからテングサの天日干しが盛んに行われています。

うちわの場合は、材料の竹の切りだしから仕上げまで二十四もの工程を手作業でやっています。

町内の交通事故

発生件数	24件
(5月...7件)	
負傷者数	6人
(5月...2人)	

うっとうしい梅雨の時期を迎えました。雨が続き、じめじめして気分まで、めいてしま...

不明者の確認月間

警察では、身元のわからない死亡者の確認や、家出人の居所をさがして家族のもとへお返しするように努めています。

お礼

愛知県江南市古知野町牧森一七八にお住いの西村隆司さん(豊之浦出身)から一万円。大阪府柏原市今町二丁目五...

人の動き

昭和62年5月1日現在	人口 8,550人	(男4,167人(-83人))
世帯数 2,668戸(-60戸)		(女4,383人(-71人))

えんむすび

昭和62年4月1日 4月30日

お誕生おめでとう

よい子に育ってください

昭和62年4月1日 4月30日

おくりやみ

昭和62年4月1日 4月30日

おめでとう

昭和62年4月1日 4月30日

おめでとう

昭和62年4月1日 4月30日